

アーネスト・サトウ『会話編』 Part II 訳注稿 (5)

櫻井 豪人

第18章 (EXERCISE XIII, p.112)

1. 間に合う, 直訳はto fit the space(空間に適合する)で、すなわちanswer the purpose(目的にかなう), be in time(時間に間に合う)の意。「一所に」の後にあるべき「行ってもらわねばならん」must get you to goが省略されているのであろう。直訳はK. On-the-former-occasion on-the-journey all-sorts of august trouble [it] was. However, again a-little business having-arisen as-far-as Kiôto [I] must go, and really, frequently you alone employ fashion being (dé), I-am-sorry-for-you, but truly by other persons [it] does-not-answer-the-purpose, and-so this-time also, though-[it]-is labour [for you] again together [with me].
2. 何返, how many timesの意。「一でも」はany number of timesの意で、「何」(「なに」) how manyと「返」(漢語) a time(回) から。「一返」once、「三返」thrice、「六返」「十返」が不規則で、その他は規則的な形態をとる。直訳はAs-to that any-number-of times [I] do-not-mind [performing the] august follower, but [for] you in-particular truly [it] is august hardship.
3. 「用で」の後に「行くのだ」I am goingを補充せよ。其に, 直訳はto thatで、すなわちin addition(加えて), and besides(その上)の意。なし為るは「ない」のpleonastic(訳者注: 冗語法、必要以上の語を用いて表現すること)である。ここではit is not to be(…ではない)の意。所々(漢語), 直訳はplace-placeで、すなわちthe various places(様々な場所)のこと。名所(漢語), place of note(著名な場所), famous place(有名な場所)の意。「名」(「な」) nameと「所」(「ところ」) placeから。
5. 一枚(漢語)は平たいものを数える助数詞で、(訳者注: 前にどのような数詞が来ても)規則的に数える。往きや(ikiya)は「いけば」に同じである。柳籠の, 柳でできたカゴのような、その材質でできた、という意。悪いと、(直訳は)if [it] be badで、「悪くては」に同じ。
7. 妙(mio)(漢語), excellent(素晴らしい)の意。またwonderful(不思議な)、odd(奇妙な)の意にも用いられる。連体修飾語句としては「妙な(miô na)」。通りは「とおりのこと」。「儲え一」(訳者注: Part I はatsurai dôri、Part IIIも「儲通」)はacc. to order(指図の通りである)の意。直訳はas [I] have got-together for-the-most-part [the] things [I] take, [it] has-become (natté iru) only packing.
8. 弥, ここでの場合、正確に(訳者注: この語を英語に)訳することができない。出発が

突然に差し迫った感覚を含んでいる語である。

9. 一 直訳は Well, going as-far-as [the] can-go-to place will-make [it] stopping-place-for-the-night.
10. 一 致したりして、(訳者注:「致したり」は) 反復相であるが、(訳者注:「致したりして」は) ここでは買い物をした上でそれとは別の準備もするというを暗に意味している。直訳は then coolies having-asked-for, in returning from-that (sono), because [as-to] me also there-are preparations [to be made], making purchases, etcetera, am-desirous-of-coming.
11. 一 勝手に, at [your] convenience ([お前の]都合に合わせて) の意。足して, 「たす」 to complete (完了する), execute (実行する、達成する) から。「用を一」は execute business (用事を済ませる) の意。直訳は Well, well! from this freely [your] self's business executing, tomorrow's departure's preparation to-do is well.
12. 一 往って参ります, 直訳は having-gone [I] come で、I'll just go there and back (今すぐそこへ行って戻って参ります) の意味である。
13. 一 まいりましてす (tes') = 「まいりましてございます」。
15. 一 直訳は To-day weather being-good, for (ni) august starting extremely splendid [thing it] is.
16. 一 じゃ, 「では」の縮約形。直訳は By last nights appearance [it] was having-become-cloudy, but by-luck [it, i.e. Heaven] has-turned-fine (mochi-naoshita) [the] weather. 彼是, 直訳は so and thus。「一為る中」は whilst doing various things (様々なことをしている間に) の意で、それゆえ while time has been passing, without our taking notice (時間が経つうち、我々も気付かずに) の意となる。(「彼是為る中もう品川駅だ」の) 直訳は [it] is already Shinagawa post-station (which presents itself). 相對, (直訳は) face to face (面と向かって) の意で、(すなわち) by private arrangement (私的な話し合いによって), without official intervention (公的な仲介なしに) の意。ここでは「相對払い」 payment by private arrangement (私的交渉による支払い) の意味に用いられており、「御定めの賃金」 the charge fixed by government to be paid by its officers (政府によって定められた、役人によって支払われる賃金) とは区別される。
17. 一 直訳は [It] is payment-by-private-arrangement, please give-out coolie one-man as-far-as Kawasaki. がここでは単に文の切れ目を埋めるために用いられている。
18. 一 貫 (漢語), 「くあん (kuan)」と綴られる。(訳者注: Part III は「貫」。) cash (錢) を繋ぐひものことで、(訳者注: 転じて) 錢千枚、「天保」十枚に当たる。(訳者注: 「天保」は銅貨である天保通宝のこと。第13章26番の注釈を参照。)
24. 一 透いて, 「すく」 to be empty (空になる) から。人の居ない家のことをいう。直っと, right ahead (まっすぐ前に) の意。通り, pass through (…を通過する) の意。第5章11番の「通す」を参照。

25. 姉さん^{ねえ}, 「あねさま」elder sisterの転訛で、女性に親しく呼びかける際に用いられる。見繕う、目的を満たすものを選び出すこと。「見る」to seeと「繕う」to mendから。酒^{さけ}、以下(訳者注:「酒を少し頼む」の直訳)はa little saké [I] ask for.
28. ーはいはここでは注意を引くために用いられている。(それ以降の)直訳はaugust thing-ordered is finished.
29. 一名物(漢語), 「名」(「な」)nameと「物」(「もの」)thingから。famous thing(有名な物)の意で、その地方において注目されている品物をさす。海苔^{のり}は小さな紙状に乾燥されたlaver(訳者注:食用の海苔)のことで、大抵は油で揚げて醤油をつけて食べられる。肴^{さかな}, 「酒」^{さけ}とともに食べられるあらゆる食べ物^ををさす。「さけ」と「菜」^なgreensから。(古くは全ての食べ物に対して用いられた。)^を「酒のーに」はfor an accompaniment of saké(「酒」のお供に)の意。
30. ー遠慮(漢語), diffidence(内気なこと), modesty(控え目なこと)の意。「ーなしに」はwithout diffidence(内気にならずに), not standing on ceremony(儀式張らずに)の意。飲みな, 「飲む」の命令法。
31. ー(「もう十分頂戴致しましてす」の直訳は)By-this-time sufficiently have received. 御先^{おきき}へ, before you(あなたより先に)の意で、自分のことを詫びているのであるが、他にも、例えば自分が一番先に部屋に入る場合や、他の同僚よりも先に休暇を取る場合など、これに類する状況で用いられる。
34. ー銚子切れ^ぎ, 「銚子」a saké-bottleと自動詞「切れる」to be cut(切られる、切れる), to come to an end(終わりになる)から。御積もり^お, enough(満足した)の意。恐らくは「積もる」(自動詞の)to pile up(積もる), to be heaped up(積み上げられる)から。盛^{よそ}っては「よそう」to help to(人に食べ物を盛る)から。
35. ー「書付^{かきつけ}を」の後に「もって来てくれろ」を補って解釈せよ。
37. ー匁^{もんめ}, a money of account(計算貨幣、計算の単位としてだけ機能している貨幣)で、「両」の六十分の一、すなわち「分」(boo)の十五分の一である。分^{ぶん}, 一「匁」の十分の一。「一分」^{いっぶん}「三分」^{さんぶん}「六分」^{ろっぶん}(が不規則で)、残りは規則的に数える。(訳者注:「両・分・朱」が定量貨幣である金貨の単位で、匁・分が秤量貨幣としての銀貨の単位。Satowは一両=六十匁と記しているが、これは元禄十四(1701)年に公定された比率であり、実際の金銀の交換比率は日々の相場によって変動し、時代によっても異なった。なお、銀目による取引は明治元年の布令により廃止された。)茶代^{ちやだい}(漢語), 直訳はtea-moneyで、宿で代金に加えて与える小遣い(present)のこと。「是は少し許りだが、茶代だ。」の)直訳はThis is a-little only, but is [the] tea-money.
39. ー(後半の)直訳はAnd, how is [it], [we] increase [your] hire, and, if [you] were-to-go carrying straight as-far-as Kanagawa? 「如何だ」は、本来なら「行っちゃ」の後に言うべき語である。

41. 直訳はmaster as-far-as Kanagawa august kago's august agreement cannot-be-made?
42. (直訳は) No, [I] will-abandon. If [you] make [it] cheap, though [I] riding [it] is-well.
43. 遣る, to doの意で、「担ぐ」の意味で用いられている。
44. し, and therefore(だから), and so(それで), and also(それに)の意。直訳はBlockhead! Am-probably-not-doing riding in kago for-the-first-time and so nonsensical thing say-not! Since [my] master also is robust as-to his august feet, to-walk is [his] august intention.「し」の類例としては以下のようなものがある。「せわしい日もあるし、暇な日もある」I have busy days and days of leisure.「外を歩けば足がくたびれるし、家に居れば退屈するし、実にどうも」if I go out my legs get tired, and if I stay at home I feel bored, so that really ……「そのことはわたくしの知ったことじゃありやしまいし、そんなにひどく言わなくても良うございます」I do not know anything about that matter, so you need not speak so violently.「わたくしは酒は嫌いだし、たばこは吸わず、茶もあまり好かないし、楽しみが薄うございます」my pleasures are few for I dislike saké, don't smoke, and am not particularly fond of tea.
46. 直訳はTroublesome! Since [I] have said [it] won't-do.「言ったら」の後に「あまりしつこいじゃないか」を補って解釈せよ。
47. 直訳はThen, what quantity if [it] be, master, is [it] well, eh! master.
48. 直訳はWell, about ichibu if [it] be [I] will ride.
49. 滅法界も無い, 恐らく「滅法界にも無い」のことである。直訳はthere-is-not even in the-region-where-law-is-annihilatedで、すなわちunfair(不当な), absurd(不合理な)の意味である。(最後の文の直訳は) Master, thus cheaply can-go thing is-not.
50. 直訳はIf [you] do-not-go [it] just is-well. Here [I] also will-abandon.
51. 思い断る, 直訳はto finish thinkingで、to make up one's mind(決心する), to becomes resigned(諦める)の意。溢れ, 「あぶれる」to overflow(あふれる), to be in excess(超過している)の語根。「仕事」が有り余っているのではなく、仕事をしたいと望んでいる人が有り余っているということである。「あぶれ」はまた、がっかりする意味にも用いる。例えば、仕事に呼ばれた人足が、雇われることなく再び無職になった場合や、芝居を見に行ったら休みだったという場合などである。
53. あもう, thatの意であるが、ここでは単に間投詞として用いられている。ちょうどピジン英語(訳者注: Satowの言うピジン英語は、中国人の買弁が使っていた英語をさすものと推測される)で名詞の前に置かれるthatのように。直訳は[It] is good, but if [we] had-laboured without that tateba condescend to-buy a-cup [of saké for us].
54. 出せる, 「出す」の可能法。心付け, 「こころ」mindと「つける」to applyから。「一する」はto remember(何かを与えて労をねぎらう)の意であり、すなわちto give a vail to(…にチップを与える)の意となる。直訳はThat is in-proportion-to [your] hard-working.

- But superfluity certainly cannot-give. As-to a-little only's thing [I] will even remember [you].
57. ー^{いただ}戴いて、(直訳は) receivingで、すなわち、主人の費用負担によって、ということ。
60. ー(「何方でも宜い方に為よう」の) 直訳はWhichever [it be, we] will-chose [the] good one-of the-two (*hō*).
61. ー^{かた}方, sideの意で、英語のplaceによる表現に似ている。^{そまつ}疎末(漢語), coarseness(粗野), negligence(粗漏), want of care(世話不足)の意。申し上げるはここでは「する」to doに同じ。
63. ー^{なにとぞ}でもは「左様でも」though (it be) soのこゝ。「何卒」の後に「お願い申します」を、「何卒」の後に「お泊り下さる様に願います」を補って解釈せよ。直訳はThough (*ga*) it may even be (*de mo gozaimashō*) [so] I pray you to condescend to command (*ōsetsukerare kudasaru yō ni dôka*) to (*é*) my (*temaë*) place (*kata*) this evening (*komban wa*). As (*kara*) [I] certainly (*kesshité*) will not (*-masen'*) treat (*tsukamatsuri-*) you (*o*) badly (*somatsu ni wa*), pray! (*nanitozo*) [stop at my house].敬語としての受動態「仰せ付けられ」の用法に注目せよ。くんなさいな、「くれなさいなさい」のくずれた形である。
64. ー^{じょうやど}定宿, 「^{じょう}定」(漢語) fixed(固定的な)と「^{やど}宿」innから。その旅行者がいつも泊まる宿のこと。

第19章 (EXERCISE XIX, p.119)

1. ー^{おさん}下女, または「おさんどん」、あらゆる台所女中の総称。^{すす}濯ぐ、(足を) to rinse(洗い落とす), cleanse(洗い流す), to wash(洗う)の意。
2. ー^{わらじがけ}草鞋掛, 「わらじがけの足袋」のことで、「わらじ」と呼ばれる藁製のサンダルの上で履いて結びつける靴下のこと。(「がけ」は「かける」語根「かけ」のことである。)^{すす}「すすぐに」close toの後に「運んでくれろ」を補って解釈せよ。
4. ー^{ちよい}一寸とした; このような複合語において、「した」(「する」の直説法過去形)は英語の-ishのような形容詞語尾である。「一もの」はsomething small(何かささやかなもの)の意で、すなわち食べ物でちょっとしたものの意となる。^{ひとくち}一口 (*shito-kuchi*)の直訳はone-mouthfulで、すなわち「酒」を一口、の意である。
7. ー直訳はas-to august *saké*-bottle, now discountinuing, [I] have-brought rice.「甚だ」の後に「お粗末でございます」を補って解釈せよ。
11. ー(「料理なども」以下の) 直訳はCooking, etcetera, also extraordinarily being-clever, is neat.
14. ー(「実に」以下の) 直訳はTruly [good] journeying is-confined to [the] Tôkaidô.
17. ー直訳はSo? as-to to-day, considerably have-walked consequence? am tired. Pray a-bit please-to shampoo.

18. 一直訳はAh, pleasant feeling [it] was. K. you also how is [it]?
19. 一直訳はNo. I will-leave alone.
23. 一直訳はThat is dear. A-little only having shampooed. How is [it]? Abate-to one-hundred and fifty [cash].
24. 一「^え其んな事を」以下の直訳はThat-sort-of thing not-saying to-give is-good.
28. 一宿帳^{やどちよう}, 警察目的のために地方役人が保管する、旅行者について記録した帳簿。
29. 一何^{なん}のはsurname(「苗字 (miôji)」) を表している。「^{なにがし}某」はpersonal name(「^な名」) を表しているが、時折 (訳者注: 姓と名の) 両方を表わすことがある。「さむらい」より下の階級の人々が姓を名乗ることを許されたのはごく最近のことである。^{ならび}并に, andの意で、口語で用いられる場合には形式張った言い方となる。
30. 一筆墨代^{ひつぼくだい} (漢語), 記入料金のこと。直訳はpen-ink-compensation.
32. 一床^{とこ}を取る, to make the bed(寢床を用意する) の意。「取る」よりも「延べる」の方がより上品な言い方で、「敷く」はその逆である。
33. 一枕, pillowの意。「括り枕」「茶枕」「坊主枕」はbolster(長枕) を示す同義語。直訳はWhich side small [I] make into august pillow (for 'position of pillow').
34. 一日本人は大抵頭を南に向けて寝るのを好む。死体は頭を北に向けて置かれるからである。
37. 一「で」と「頼む」の間に「おるように」を補って解釈せよ。
38. 一^{おやす}休み^なみ成^なさい, be pleased to rest(ぜひお休み下さい) の意で、good nightという表現が最も近い。^こ御^き機^{げん}嫌^よ能^よう, in good health(健やかに) の意で、「^{やす}休み」に係る副詞である。
39. 一(「^{ただいま}唯今^{むつ}六時^うを撞^つちました」の) 直訳は[They] have-struck six. 目覚め, 「目」eyeと「さめる」to unclose (only of the eyes)((目が) 開く) から。
41. 一寝忘れた; (直訳は) sleeping-forgot (that I wished to start early)((早く出発したいと思っていたことを) 寝て忘れてしまった) であるが、I have completely overslept myself(私は完全に寝坊した) という英訳の方が良いように思われる。
42. 一直訳はAugust hand-washing's hot-water have prepared.「取る」は「床を取る」の「取る」と同じ意味 (訳者注: 準備するの意、この例文の英訳文と32番の注釈を参照) である。
45. 一(前半の) 直訳はHullo, landlord, by (^{ja=dé wa}) this, what! [the] account is-probably wrong.^{じよう}上 (漢語), upper, first-classの意。
46. 一直訳はYes, sir, because generally-speaking all-kinds of necessities^{ママ}) are-dear, inn-charge also is risen considerably in-comparaison-with (^{yori}) former times.
47. 一何^{どこ}処^この, 以下の直訳はAt any-where's post-town even such-a thing is notで、すなわちthere is nothing of this sort at any (other) post-town(他の宿場ではこのようなことはない) の意となる。
48. 一「^{おお}大きに」greatlyの後に、「^{これ}間違いでございます」is a mistakeを補って解釈せよ。(「^{これ}茲は

とんだ過失致しました」の) 直訳はHave-done terrible careless-act.「書き違い」はmistake in writingの意。

49. ー書き直す, to re-writeの意。「直す」to mend(修理する) という動詞が他の動詞の後についていたものは、ラテン語接頭辞のreの意味を持つ。
50. ー「はや」の後に「不調法仕りました」を補って解釈せよ。
51. ー夫, 「それは」thatの縮約形で、幾分怒って用いられる。「勘定渡すぞ」の) 直訳は[I hand over [the] account, i.e. the amount of the bill.
52. ー「能う」の後に「いらっしやいまし」を補って解釈せよ。
53. ー昼休み, 直訳はnoon-resting.
- 53.(訳者注: 55.の誤り) ー中納言様(chiunagon sama), 「御三家」の一つ(訳者注: 水戸徳川家を指す、尾張・紀伊は共に大納言) に与えられる官職名で、「みかど」から拝受するものであるが、それに丁寧の「様」が加えられている。「小休み」は、直訳がlittle-restingで、an intermediate resting place(中間で休憩する場所)の意である。混雑(漢語), confusion(混雑), crowding(群がっていること)の意。「一する」はto be in confusion, to be crowdedの意。
56. ー間の宿(shiku), intermediate post-town(中間にある宿場)の意。そこでは人足を調達することができない。
57. ー上下(漢語), 直訳はsuperior [and] inferiorで、of all ranks(全ての階級の)の意となる。
58. ー彼是, 直訳はthat [and] thisで、one with another(概して), altogether(全体で)の意。
59. ー藩士, 二本差しをしている上位階級の男をさし、「足軽」とは区別される。今日ではそれぞれ、(訳者注: 「さむらい」は)「士族」(漢語)、(訳者注: 「足軽」は)「卒」(漢語)として分けられ、まとめて「士卒」(漢語)とされている。(訳者注: 「士族」と「卒」はともに明治維新後の身分制度であるが、「卒」は明治五年正月に廃止され、「士族」に編入された。)「だか」の後に「知らん」を補って解釈せよ。供断り, 直訳はretinue-cutting(従者を切ること)で、すなわち有力者の行列を横切ること。とか語う, they seem to say(…と言われているようだ)の意。「か」は不確かさを表している。直訳は[I don't know] of what place [a samurai [he] is? [they] seem to say that having-done retinue-diving was-cut. True?
60. ーでは「でございまして」のこと。「酒に酔って居たそうでした」以降の) 直訳はBeing intoxicated by wine appearance being, and something sake-frenzied appearance [it] seemd.
61. ー可愛そうな(「かあい」と綴られる), 直訳はcan pityで、pitiable(あわれな)の意。(訳者注: Part IIIの漢字表記は「可愛」であるが、Part IIの記述は「可哀」を想定しているように思われる。)「そう」はこの前の文にある「そう」と同じであり(訳者注: 60番の「酒に酔っていたそうでした」の「そう」をさす、第5章13番の注釈「気が付きそ

うな」を参照)、「な」は全体を形容詞に変換している。した, has doneの意で、英語でhas happened(…が起った) という場面において用いられる。例えば「惜しいことをした」はa regrettable thing has happenedの意であり、すなわちit is a pity(それは悲しいことだ) の意となる。それゆえ「かわいそうなことをした」はa thing which calls for pity has happenedの意であり、すなわちI am sorry for him(彼のことを残念に思う) の意となる。

64. 一混雑ごたごた, 「混雑こんざつ」の同義語。

65. 一付け替えか, changingの意で、「つける」to fasten on (baggage)((荷物を) 括り付ける) と「替える」to changeから成る「付け替える」の語根。類例として、「着る」to put onから来る「着替える」to change ones clothesがある。

66. 一直訳はAs-to journeying that (i.e. *tsuké-kaë*) being-troublesome, [one] is annoyed.

第20章 (EXERCISE XX, p.122)

1. 一御学おびなに成る = 「お学なびなさる」。直訳はConsequently upon (*ni tsuité*) your (*o*) now (*koré kara*) beginning to learn (*manabi ni naru*) Chinese-character (*kanji wo*) having-acquired (*motomé mashité*) [a] dictionary (*jibiki wo*) yesterday (*sakujitsu*) [I] taking (*motté*) [it] have-come (*sanjimashita*), and (*ga*) this (*koré*) is (*de ges'*) [it]. げず (*ges*), 「ごござざいます」の転訛。
2. 一だって, 「左様であつても」though it be soの省略。引き様よ, 「引く」to look out in a dictionary (辞書の中を探す) と「よう」fashion(動詞と結びついてway ofの意となる) から。直訳はBut to (*ni*) as-yet way-of-looking-out [words] not-being-understood (*wakarimasen' no*)。 (訳者注: 「氷解わかりませんに」の「の」は) 第5章43番の「よいのに」の「の」の類例である。
3. 一総目そうもく, index of contents(目次、索引) の意。総すべて, taking-all-together(全部ひっくるめて) の意で、「総すべる」to join in one(一つに合わせる) の分詞。源は「もともとは」のことで、(直訳は) as to [the] origin、すなわちoriginally(もともとは) の意。組みくみ合わせる, to embody(一体にする), to put together(構成する) の意。「組くむ」to knitと「ああう」to meetの使役態から。其そは「それ」that, itのこと。「一だから」は、(直訳が) since [it] is thatで、therefore(それゆえ) の意である。直訳はWhat! As-to looking-out (*hiku no wa*) there is-not (*arimasen'*) even (*mo*) a-little-trouble (*zôsa*). To-begin-with (*madzu*) I will teach you (*oshiété agemashô*) that (*soré wo*). Please look at (*goran nasai*) this dictionary's (*kono jibiki no*) index of contents (*sômoku wo*). [It] is (*des'*) this sort of (*kono tôri na*) thing (*mono*). Things (*mono wa*) called characters (*ji to iu*) talking-all-together (*subété*) are (*des'*) originally (*moto*) things (*mono*) made (*koshiraëta*) by combining (*kumi-awaseté*) these (*koré wo*). Therefore (*so da kara*) [it] is (*des'*) [a] natural consequence (*dôri*) [that] any character

soever (*donna ji demo*) can-be-looked-out (*hikemasu*) at once (*jiki ni*) if (-*ba*) [you] only (*saë*) are (*ore-*) having learnt (*oboëté*) this order (*kono jiun wo*).

4. 二様に, in two kinds(二種類に), in two ways(二様に) の意。直訳は[The characters] seem (*yô ni miemasu*) to be (*aru*) written (*kaité*) in two ways (*futa iro ni*) and (*ga*) as-to that reason (*sono waké wa*, the reason of it) [what is it]?
5. 片っ方, 「片一方」の転訛。真 (漢語), 直訳はtrue。楷書 (漢語) (訳者注: Part IIIは「階書」), 直訳はpattern-writing. 後の, 直訳はbehind'sで、すなわち、一方が済んで後に残った方をさす。草 (漢語), 直訳はherbで、「草書」(漢語) のこと。(直訳は) herb-writingで、野草を思わせる形をしているのでこのように呼ばれる。段々 (漢語) に, variously(様々に) の意。崩す, (直訳は) to break downで、すなわち重要でない筆画を省くことによって崩すこと。草書は、seal character(刻印の書体) すなわち「篆書」(北京語での発音は*chuan shu*) と呼ばれる古代文字から直接派生し、「楷書 (*kâisho*)」(北京語での発音は*ch'iai shu*) は「隸書」(北京語での発音は*li shu*) から直接派生した。それゆえ両者の相違はたびたび大変に大きいものとなる。「行書 (*giôsho*)」(北京語での発音は*hsing shu*) すなわちwalking writing(歩くような書体、よってあまり速くない書き方の意) は「楷書 (*kaisho*)」から派生し、その二つの相違はそれほどでもない。(訳者注: これらの漢字書体や仮名書体について記したSatowの先行論文に、'The Various Styles of Japanese Writing' (日本語のさまざまな書体), *The Chinese and Japanese Repository*, Vol.3, no.20, 1865年3月がある。) 直訳はOne-of-the two (*katappo*), that-which (*no wa*) appears (*mieru*) in (*ni*) square (*shikaku na*) fashion (*yô*), [they] call (*to môshimasu*) [it] square-character (*kaku-moji*).
6. 然うして見ればの直訳はso doing if (one) seesで、if (one) makes the trial(もし(だれかが) 試してみたなら), if that be the case(仮にそのようなことになったとしたら) の意。直訳はQuite-so. If that be the case, in-any case (*idzuré*) both-sides (*riôhô*) taking-all-together (*subété*) if (one) does-not-know (*shiranakutchi*) [it] probably-will-not-do (*narimasumai*).
7. 直訳はYes. Well, *shin* is [the] origin, but usually (*fudan ni*) [one] uses *sôsho* chiefly (*omi ni*) and-so (*kara*) taking-all-together you must learn both (*mina*).
8. 「何卒」の後に「教えて下さい」を補って解釈せよ。
9. 献じるは「あげる」のように補助動詞として用いられる。何偏, such and such a *hen*(なにかしかの「偏」) の意。日本語にはradical(訳者注: 偏旁冠脚の類) という総称に相当する語が無く、それゆえ「偏」という言葉が時折その(訳者注: radicalの) 意味として不正確に用いられる場合がある。偏 (漢語), lateral(側部) の意で、主に文字の左側にあるradicalsの総称である。冠, cap(帽子) の意で、上部にあるradicalsをさす。構, enclosure(囲い) の意で、文字を取り囲んでいる部分をさす。夫々, 直訳はthat [and] thatで、each several one(各々), severally(各自に) の意。属 (漢語) する, to belong

の意。人偏^{にんべん} = 「にんへん」で、the radical ‘man’の意。部 (漢語), (直訳は) sectionで、それゆえradicalの意となる。康熙, (北京語での発音はK’ang-hsi) は、現中国王朝第二代皇帝の治世の「年号」(chronological period)で、1662年から1722年にわたる。その間にこの著作(訳者注:『康熙字典』)が編纂された。字典 (漢語) (北京語での発音は *tsü tien*), 直訳は canon of characters (文字の経典)。筆画^{ひっかく} (漢語), pen-strokesの意。直訳は If [it] be so (well then) now [I] will-teach [you]. Well, as-to this index-of-contents there are altogether (*oyoso*) two hundred [and] fourteen characters. Amongst (*no uchi ni*) these (*so-*) there-being (*atté*) things (*mono ga*) called (*to iu*) such-and-such (*nani*) [a] *hen*, such-and such [a] *kamuri*, such-and-such [a] *kamaë*, as-to (*wa*) characters (*ji*) taking-all-together (*subété no*), each one of them (*idzuré mo*) is (*orimasu*) severally (*sorézoré*) belonging to (*ni zokushité*) [a] thing called *hen*, or (*ka···ka*) [a] thing called *kamuri*, and (*ga*) [one] turns-up (*kiku n’ des’*) by-means-of (*motté*) the *hen*, etc. (*hen nazo wo*) of [the] appearance (*sô no*) [that they] are belonging (*zokushité i*) to it (*soré ni*). If-we-take-an-example (*tatoëba*), at (*ni*) [the] side (*waki*) of (*no*) this (*kono*) character (*ji*), there-may-be (*gozaimashô*) [a] thing (*mono ga*) called (*to iu*) *nimben*. Is [it] well? When (*toki wa*) [you] think (*to omô*) ‘[I] will-look-out (*hikô*)’ this character (*kono ji wo*) if (*-ba*) [you] serch (*sagase-*) amongst (*no uchi ni*) [the] characters (*moji*) belonging to (*ni zoku shité iru nimben’s* (*no*) division (*bu*), [it] surely (*kitto* is (*arimasu*). Since (*kara*) [it] is (*des’*) this principle (*rikutsu*) for-all (*mina*), any character soever (*dono ji demo*) if (*-ba*) [one] seek (*tadzunere-*) turning-up (*hiité*) that division (*sono bu wo*) [it] surely (*kanarazu*) is recognized (*wakarimasu*). If (*moshi and toki ni wa*) [it] is-difficult-to-recognize (*wakari-nikui*) [it] is-well (*ii*) to-do august looking at (*goran nasaru ga*) the place where (*no wo*) [one] has-collected (*atsuméta*) that sort of character (*sô iu tagui no ji wo*) in [the] commencement (*hajimé ni* (of [the] Chinese Dictionary (*Shina no jibiki no*) called (*to iu*) *Kôki-jiten*. Having-counted (*kazoété*) [the] strokes (*hikkaku wo*) if (*-ba*) [you] try (*mire-*) looking [it] up (*hitté*), as (*kara*) [the] thing (*koto ga*) called (*to iu*), ‘is belonging (*zokushité iru*) to (*ni*) such-and-such (*nani*) *hen* or (*aruiwa*) such-and-such (*nani*) *kamuri*’ is written (*kaité gozaimasu*) fully (*kuwashiku*), [you can know with-out any difficulty (*zôsa mo naku shiremasu*).]

10. 直訳は Even *sôsho* also in (*ni*) that-sort-of (*sô iu*) fashion (*fû*) does [one] look-out?

11. 当^{あた}り, 直訳は neighbourhood (近辺) で、region (場所) の意。「偏冠の一は」は、radical の場所の意で、すなわち英語ならば to the extent of the radical (radicalの範囲は) のように言うべきところである。其^{そこ}処^こを^も以^もつて, by means of that i.e. the extent of the radical (そこ、すなわちそのradicalの範囲で) の意。中には, in [the] midst [of the whole body of characters]. (文字全体の中には) の意。然^そう言う時には, (直訳は) in that sort of time で、under such circumstances (そのような状況下では) の意。明^あるい; bright の意。「文字の

明るい」(の直訳)はcharacter's brightで、bright as to, well acquainted with characters(文字について明るく、よく知っている)の意である。「が」に与えられた注釈の例を参照。(訳者注: 第1章19番の「が」の注釈の後半をさすものと思われる。)直訳はWell, since even with (*de mo*) *sôsho* [the] for-the-most part radical's extent naturally is [a] thing [which] can be known, if [you] look-out by-means-of that [it] can-be-recognised, but since in [the] midst difficult-to-be-known (*shiré-kaneru*) characters exist (*arimasu*) in-large-numbers (*ôku*) under such circumstances, because (*yuyé*) there-is-not (*nai*) separately (*betsu ni*) [a] way-of-looking-out, there-is-not [a] resource (*shikata*) [other] than to-ask to [a] person well-acquainted with characters.

12. - 「是^こりや何^どうも」の後に「所詮わたくしどもには学びきれないと思うようです(des')」I seem to fancy that after all I cannot learn it allを補って解釈せよ。
14. - 居^おり, 「おって」のこと。Astonの§47の4を見よ。直訳はOn looking at [the] dictionary, at [the] side *kana* are (*ori*) striking-on (*tsuité*), again those which (*no wa*) are (*arimasu*) written (*shirushité*) on (*ni*) [the] underneath (*shita*) also (*mo*).
15. - (直訳は) That which [one] has written (*kaita no wa*) at (*ni*) [the] side [they] call 'on.' As-to this [*i.e.* *on*] for-the-most-part there-are two. [They] call [them] 'Kan-on' 'Go-on', and these [*i.e.* the two *on*] are [the] way-of-reading of China's two-countries called (*to môsu*) [the] country of Kan [and the] country of Go.
19. - 訳^{やく} (漢語) する; to translateの意。「翻訳する」も用いられる。(直訳は) As-to this (*i.e.* the *kun*) [it] is that character's meaning by Japan-words translated thing. Being (*dé*) one-and-the-same (*onaji*) character, since there-are numerous kinds of (*ikutsu mo*) meaning, *kun* also there-are various (*iroiro*).
20. - 角^{かど}はcornerの外側の意、「隅^{すみ}」はその内側の意。直訳はthe having affixed (*tsukéta no wa*) [a] circle to this character's corner, what sort-of meaning is [it]?
21. - 平仄 (*hiosoku*) , (直訳は) even [and] oblique [tones]。 (全文の) 直訳はthat is tone (*hiôsoku wo*) has-marked thing (*i.e.* a thing by which [they] have marked the tone). There-are characters [whose] meanings differ according-to [the various] tones [they take at different times], but generally-speaking things called tones usually are not-needed things. [They] use [them] only when [they] make *shi* alone.
23. - 古^こ字^じ (漢語), ancient characterの意。「古^こ」(漢語) = 「ふるい」。
29. - 画^{かく} (漢語), 「筆画^{ひっかく}」に同じ。少なくして, making fewerの意。
30. - 成り立つ, to grow up(発達する)の意。直訳はGenerally-speaking, as-to [the] arising of Chinese (*shina no*) characters, as to their beginning, from what grown-up things are [they]?
31. - 世の中, the worldの意で、直訳はthe world's midst。(全文の) 直訳は[They] say (*iimasu*) that (*to*) [a] man (*shito ga*) of China (*Shina no*) called (*to iu*) *Sôketsu* having seen (*mité*)

bird's (*tori no*) footprints (*ashi-ato wo*) made (*koshiraëta*) characters (*moji wo*) for-the-first-time (*hajiméte*), however (*wa* and *ga*) really (*dômo*) [it] cannot-be believed (*shinjiraremasen*). In-connection-with (*ni tsuité*) this subject (*soré*) there-are (*arimasu té*) the-following (*kô iu*, lity. thus-called) stories (*hanashi ga*.) [They] say (*ii*) that (*to*) this (*kano*) man (*shito ga*) called (*to iu*) *Sôketsu* when [he] made (*koshiraë tara*) characters (*ji wo*) [the] demons (*oni domo ga*) wept (*nakimashita*) saying (*itté*) that (*to*) because (*kara*) [the] precious (*chôhôn*) things (*mono ga*) called (*to iu*) characters (*monji*) have-been-produced (*dékita*) in-the-world (*yo-no-naka ni*) [the] demons' (*oni no*) acts (*suru shiwaza*) (more literally, the deeds done of demons) also (*mo*) becoming-known (*shirareté*) to (*ni*) human-beings (*ningen*) henceforth (*koré kara*) [they] would-have-written (*kakareru d'arô*) [about them] all-sorts-of-things (*iroiro no koto wo*), again (*mata*) there-is (*arimasu*) [their] saying (*iu koto ga*) that (*to*) in Heaven (*Ten dé wa*) [they] rained-down (*furashita*, for *furaseta*) paddy (*momii wo*) saying (*itté*) that (*to*) since (*-ra*) [the] things (*mono ga*) called (*to iu*) characters (*monji*) had-been-produced (*dékita-*), human-beings (*ningen*) also (*mo*) would (*d'arô*) finally (*shimai ni wa*) be distressed (*komaru*), [through] gradually (*dandan*) [becoming] only (*bakari*) cleverly acute (*sagashiku rikô ni*), (i.e. clever and acute), [through] everything (*banji*) being-opened-in-excess (*hiraké-sugité*) [through the] precious (*kanjin no*) quality (*tokoro ga*) called (*to iu*) simplicity (*shitsuboku*) vanishing (*usété*), but (*ga*) in China (*Shina dé*) [they] frequently (*yoku*) some-how-or other (*tokaku*) say (*iimasu*) this sort of (*kô iu*) vain (*kû na*) things (*koto wo*). Numerous (*kazu no ôi*) things (*mono*) seeing that they are (*wo*), how (*dô shité*) possibly (*nakanaka*) [are they] things (*mono*) [which] thus (*sô*) can-be-produced (*dékimasu*) by (*dé*) one-man's (*shitori no*) act (*shiwaza*)? (*ka*). (訳者注: 「^なきましたとか言い」の) とか言うのかはその話が真実であるかどうか不確かであることを暗に意味し、多くの可能性の中の一つに過ぎないことを示している。(訳者注: 「数の多い物を」の) をはこの場合、目的格の標示ではなく、どちらかという「だのに」seeing that they are(それらが…であるからには)の意味を持つ。Hepburnの「を」の項目における(3)の例文において、この助詞(「を」)がここでの例と同様の意味で用いられているが、いずれの例文においても省略が行なわれている。(訳者注: 『和英語林集成』の「を」(3)の例文には、「あなたがいたら死にはせぬものを」「早く帰ればよかったものを」「出せと言っても無いものを」(原文ローマ字)の3例が挙げられている。初版・2版とも同じ。)「を」のこの用法を説明するために引き合いに出される例文は数多くあるが、そのうちの一つに、however(しかしながら)の意味の「しかるを」がある。「最初」から「書き附けた物が」までが主部(subject)、「だろう」がcopula(訳者注: 連結詞、主語と述語をつなぐ語、特にbe動詞を指すが、時にbecome, seemなどを含める)、「段々の」(訳者注: 「段々に」の誤り)から「出来て来た物」までが述部(predicate)で、そ

の文が「思います」に従属している。(その文の直訳は) I think that (*to omoimasu*) the things which (*mono ga*) by taking the shapes of articles (*shinamono no katachi wo tottē*) [they] at first (*saisho*) wrote down (*kakitsukēta*) to act as (*ni*) a mark to remember by (*oboē no shirushi*) as far as in them lay (*isasaka*) are-probably (*d'arō*) thing (*mono ga*) [which] become (訳者注: 冒頭のERRATAでbecomeをbecameに訂正) produced (*dékité kita*, lity. came being produced) more and more (*dandan ni*) afterwards (*ato kara*). 聊^{いささ}かいささはsmall (小さな), insignificant (些細な) を意味する形容詞語根であるが、ここでは上記のような (訳者注: 直訳のas far as in them layといった) 迂言法 (periphrasis) (訳者注: 言葉も多く用いて遠まわしに表現すること) によらなければ十分に満たすことのできない慣用的な意味として用いられている。「いささかのお礼のしるしに差し上げます」I present it to you as a slight mark of my gratitude (私の感謝を込めたささやかなしるしとしてそれをあなたに差し上げます) という文においても、同様の意味で用いられている。

32. 一 何^{いかさま}様と成^{なるほど}程は、言われていることに同意したり興味を示したりする同義の表現である。直訳はBut [they] cannot-be (*dé gozaimasumai*) either (*mo*) without-exception (*kotogotoku*) only (*bakari*) things (*mono*) [in which they] have-written (*kaita*) shapes (*katachi wo*). How (*ikaga*) about (*wa*) things (*mono*) [which] have-not (*nai*) definitely (*shikato*) shapes, and [the] actions' sort.
33. 一 直訳はAs-to those (*soré wa*) [one] would write (*kakimashō*) [them by] some-how-or-other (*nani ka*) laying-a-foundation (*moto-dzuki*, for *moto-dzuité*) on (*ni*) their (*sono*) manner (*sama*) or (*aruiwa*) according-to (*ni yotté*) their (*sono*) essential-principles (*ri*). If-we-take-example (*tatoeba*) [they] are (*dé**) of-like-sort-to (*yō na rui*) as-to (*wa*) [the] character *tō* (*tō no ji*, i.e. the character which belongs to the sound *tō*) which means (to iu, called, i.e. Japanese) *higashi* representing (*hiōshi*) [the] sun's from behind (*kagé*, lity. shadow) tree rising manner (*sama*); as-to (*wa*) the character *mei* which means *akiraka* making (*tsukuri*) [it] by combining [the] sun and moon's two [i.e. the two composed of the sun and moon]; as-to [the] character *bun* which means *kiku* writing (*kaki*) the character which means *mimi* in *kado-gamaë*, again as-to [the] character *sho* which means *kaku*, [they] have-written *iwaku* under *fudé*, and so (*dé**) as-to their origin [they] without-exception [are things of this sort (*kō iu tagui no mono da*)]「表^{ひょう}し (*hiō-shi*)」「造り」「書き」は「書いた」と等位であり、翻訳する際は直説法過去形相当になることに注意せよ。「類」と最後^{るい}の節とを結びつけるでは、二度取り上げられるに違いない。(訳者注: 上記の直訳文において、*印のついている*dé*が二箇所あることに注意。)
34. 一 申すには、直訳はin speakingで、名詞として用いられる直説法現在形である。他の人の発言を引用する際には大抵このような言い回しが用いられるが、その場合でも、引

- 用の最後にhe saidと言うのを省いたりはしない。直訳はUntil this [I] have-been learning hiragana, but in [my] writing teacher's saying [i.e. — says] ceasing that (soré wo yameté) the-having-learnt sôsho would-be good, says [he], but how-would [it]-be? 直説法現在形に「が」がついた形は、条件法過去形と同等になる。Astonの§49を見よ。
35. — 「積もり」の後に「でございますか」を補って解釈せよ。
36. — とは引用の助詞で、引用符で括って答えていることになる。直訳は[What is the meaning of] “What style”? But sôsho's ways-of-writing also again are-there various-kinds? **有るのか**は「あるか」と違って驚きを表し、以前の印象とは反対の結果であったことを表現する。一方、後者（「あるか」）は単純に情報を求める表現となる。その次の文章もこれに当てはまる例で、生徒がそれまで知らなかったことに対して教師が驚いている。
38. — 直訳はNo. Completely was under-the-impression that [they are] one thing.
39. — **唐様**、China-fashionの意。**俗様**、common fashionの意。これら二つの名詞についているとは、厳密に言えば引用の助詞であるが、この文では接続詞のandの役割を持っているとも見ることができる。**清朝**（漢語）、（直訳は）[the] Ts'ing Courtで、清王朝政権下の中国のこと。日本人は、Chinaが自ら称する「中国」（Chung kuoすなわちCentral State）という国名や「天下」（Tienhsiaすなわちthe region under Heaven）という国名を決して使おうとせず、中国の歴史的事実について言及する際には、その事実が起こった王朝の名前で呼ぶ。「清朝」は一番新しい王朝であるが、いつ始まったのか曖昧なままで用いられている。**御家流**（on-iyé-riu）、（直訳は）august family styleで、徳川（訳者注：原文Tokogawaと誤る）将軍の時代に公文書で用いられたが、1868年からは次第に「唐様」に取って代わられるようになっていく。**と為る**、to consider(…と考える)の意味で用いられている。
40. — 覚え尽くせる、「覚え尽くす」to complete learning（完全に習得する）の可能法。このような複合語における**尽くす**は「話し切る」や「分かり切る」の「切る」に似ている。
41. — まさか**は**明らかに「まさしく」certainly, trulyの語根と関連しており、I venture to doubt（失礼ながら…ではないと思います）の意味で用いられるように思われる。「— そうでもない」はI venture to doubt your correctness in saying so.（失礼ながらあなたが言っていることが正確であるとは思われない）の意である。「満更」と「よもや」は（訳者注：「まさか」の）同義語である。**本気**（漢語）、earnestness（真剣であること）の意。直訳はproper frame-of-mind。「— になる」はto be in earnestの意。**何でも**、anythingの意。「— ない」はnothing at all（全く無い）、absolutely nothing（全然無い）の意。

第21章 (EXERCISE XXI, p.133)

1. ー引き合う (訳者注: 原文Hiikauと誤る), to discuss(相談する)の意。申し入れる, to inform of(…を告げる), to communicate to(…に知らせる)の意。「申し上げる」よりも丁寧さに欠ける。貴国 (漢語), 直訳はhonoured countryで、すなわちyour countryの意。取引, 直訳はtaking [and] drawingで、すなわちmercantile transactions(商取引)の意。取引約条違とりひきやくじょうちがい, (直訳は) mercantile-transaction-contract-breakingで、すなわちa breach of contract(契約違反)の意。(全文の) 直訳は[the] affair (koto wa) [which I] wish-to-discuss [with you] (on hikiai môshitai) is not (dé gozaimasen') even (mo) other (hoka) [than the following], but (ga) is (dé gozaimasu) [the] complaint-affair (soshô ikken) consequent on (ni tsuité no) [the] affair (koto) of the breach of a contract [between] my country's merchant called (to môsu) …and (to) [a] merchant of your-country, as (tôri) [I] communicated to [you] the-other-day (senjitsu) briefly (ara-ara) by (dé) letter (shokan).
2. ー貴国おくに, august countryの意であるが、外国人に対してその出身国をさして呼ぶ場合に用いられ、また日本人同士の場合でもお互いの出身地をさして呼ぶ場合に用いられる。(全文の) 直訳はOh, just-so. That surely was-probably M.H.and your countryman……'s affair.
3. ー約条書きやくじょうが, contract-writingの意。御覧になれば = 「御覧なされば」。に付いてはa-piece (訳者注: 例文の「一反について」の部分) のaに相当する。替かえは他動詞「替える」to changeの語根が「にごり」を伴ったもので、price eighteen dollarsというフレーズのpriceに相当する。遂げたる, 直説法過去形の連体形で、大抵は文語に限られるが、儀礼的な会話においては使用が許される。買い込みし, 直説法過去形のもう一つの連体形で、厳密には文語に属する用法である。儲かる, 「もうける」to make(作る)、to profit(利益を得る)の自動詞形に相当し、可能法として用いられる。もはや, 「もうはや」now already(もうすでに), now(もう)の転訛で、否定を伴った場合はno longer(もはや…ない)の意である。困却 (漢語), distress(苦悩)の意。極まる, to be extreme(極度の状態にあること)の意。頼み入れる, to solicit(懇請する)の意で、「頼む」に同じ。固もとより, of course(勿論), naturally(当然), most justifiably(至極当然に)の意。(全文の) 直訳は[It] is so. If you look at (goran ni nareba) [the] copy (utsushi wo) of [the] contract (yakujô-gaki no) [which] appending (soyeté) to [a] despatch (shokan ni) [I] have already sent [to you] (kanété sashi-agé-oita) the-particulars (isai) are understood (wakarimasu), but (ga) [it] being (nité) [a] contract (yakujô) of (no) price (gaë) dollars eighteen piecy (yôgin jûhachi mai) a-piece (ittan ni tsuité) camlet (gorofuku), that-is-to-say (sunawachi) your country's merchant (kikoku no shônin) having-settled (torikimé-mashité) to buy (kau koto ni) camlet (gorofuku wo) from (ni) my country's merchant

(*waga kuni no akindo*) by-means-of (*wo motté*) [the] sum (*taka*) of (*no*) dollars (*yôgin*) one myriad eight thousand piecy (*ichiman hassen mai*); well (*saté*) that-much-being-settled (*soko dé*) as-to [the] matter of delivering (*hiki-watashi no gi wa*) [the] goods (*nimotsu wo*), there is appearance of having strictly completed [a] consultation (*kataku dampan wo togetôru sa* (訳者注: 冒頭のERRATAで*sa*を*sô*に訂正) *dé gozaimasu té*) to [the extent of a] promise (*yakusoku ni*) to-take-away (*hikitoru*) half severally (*hambun dzutsu*) on (*ni*) the-tenth-day (*tôka mé*) and (*to*) the-twentieth-day (*hatsuku mé*) according-to (*shidai*) [the] arriving (*tsuki*) [of the] merchant-ship (*shôsen ga*) called… (…*to môsu*). However (*shikaru tokoro*) at-that-time (*sono setsu*) camlet’s (*gorofuku no*) market-price (*sôba ga*) being very-good (*itatté yoroshiku*) [Astonの§33、p.28を見よ] [and] he (*tônin*) also (*mo*) purchased, (*kai-komishi*) because of (*yuyé*) [its] being (*dé atta koto*) [an] even (*mo*) still-more (*nawo*) above that (*sono uyé ni*) likely-to rise (*agari sô na*) appearance (*keiki*) with-the-expectation-that (*mikomi dé*) he-could-profit (*mokaru*) considerably (*zuibun*), but-however (*tokoro*) because of (*yuyé*), contrary-to-expectation (*kaëtté*) [the] price (*né ga*) having-gone-down (*géraku-shité*) at the present moment (*konnichi ni itatté wa*, lity. arriving at today), [its] having become (*ni natta koto*) [a] market-price (*sôba*) of-such-a-sort-that (*kurai na*) there-are-not (*nai*) any longer (*mo haya*) purchasers (*kaité ga*) at (*ni*) even (*mo*) sixteen piecy (*jiuroku mai*), [as-to] him (*tônin*) also (*mo*) distress (*konkiaku*) nearly (*hotondo*) having-reached-the-extreme (*kiwamatté*) [he] repeatedly (*shikiri ni*) solicited (*tanomi-irétaru*) forbearance’s matter (*kamben no gi wo*), but-however (*tokoro*) because (*yuyé*) [it is an] affair (*koto*) of contract-breaking (*yakujô-chigai no*) [the] owner-of-the goods (*ni-nushi*) also (*mo*) naturally (*motoyori*) does-not consent (*shôchi itasanai*) and consequent (*ni tsuki*) [the] matter (*koto*) becoming (*ai-nari*) difficult (*mudzukashiku*) finally (*tsui ni wa*) to our office (*wagahô no yakusho é*) has come (*démashita*) complaining (*uttaëté*) affair (*ikken*) [it] is (*dé gozaimasu*). 大雑把に訳すなら、「一件でございます」は完全に省略してしまっても構わない。(訳者注: Part I およびPartIIIは「一件」ではなく「*gi*」「*儀*」となっている。)

4. 一訳 (第7章12番を参照) の第一義はexplanation(説明)であり、それゆえ「どうい^{わけ}うわけだ」(直訳) what reason is [it]すなわちwhat is the reasonのように、reason(理由)やcause(原因)の意にもなる。「そういうわけなら」という句では、文脈によってreason(理由)の意にもstate of things(物事の状態)の意にもなり得る。以下の文においては後者の意味であるように思われる。「どうしても来ないわけなら、こちら(訳者注: 冒頭のERRATAで原文*kichira*を*kochira*に訂正)より出ましょう(訳者注: 冒頭のERRATAで原文*masha*を*mashô*に訂正)」直訳if it be a not-come-any-how state-of-things, then from here will goは、すなわちif he absolutely won't come then I'll go to him(彼がどうしても来ないのなら私が彼の所に行きましょう)の意となる。「そういうわけには

参りますまい」that will be impossibleという文においてこの語の正確な意味を突き止めるは困難であるように思われ、たとえit can hardly come to such a-state-of-things(きつとそのような状態には至らないでしょう)と訳したとしても、辛うじて同じ意味になるかならないかという程度である。この章の6番と12番における「わけ」はこの意味を持つ。13番と15番においては「道理」と同義であるように思われる。前者(訳者注: 13番)はa good reason why(正当な理由)と訳されるのが、そして後者(訳者注: 15番)はa principle to go upon(判断原則)と訳されるのが最善であろう。(訳者注: 13番と15番の直訳を参照。) 17番はstate of affairs(物事の状態)の意味を持つように思われる。御遣わしに成りました = 「お遣わしなさいました」。横文(漢語) = 「横文字」 a version made in an European language(西洋語によって書かれた訳文)。日数, number of daysの意。限り, limitの意であるが、not-later-than(…以内に)の意にもなる。期限(漢語), period(期間), date fixed(期日)の意。辞応無く、「いや」noと「応」(漢語) to consent(同意する)の複合語で、(直訳は) without refusal or consenting(拒否も同意も無しに)、すなわちwithout offering to dispute the question(その問題に対する議論の余地を与えずして)の意となる。(全文の)直訳はQuite so. [I] have understood each-separate-particular (chiku-ichi). But [I] believe (oboemasu) that (yô ni) [the] tenor (omomuki) of (no) [your] just now (tadaima) speech (ôsé) and (to…to wa) his (tônin no) statement (môshitaté) differ (chigaimasu) a little (chito). Although (keredomo) in (ni) [the] translation (ôbun) you sent (o tsukawashi ni ai-narimashita), to be sure (naruhodo) [it] seems (ni miemasu) contents (omomuki) [which] is written (kaité aru) ‘upon (no uyé ni) ship’s having arrived (shôsen ga tsuité),’ as (tôri) [I] have heard [from you] (uketamawarimashita), in what he says (tônin no môsu ni wa) [it] being-not (dé wa naku) even a-little (chitto mo) that sort-of (sayô no) state of things (waké), [but] in-fact (mattaku) [he] had promised (yakusoku itashimashita) ‘sixty days’ number of days (rokujiu nichi no hikazu), and no later (kagiri), but-however it appears that (tokoro and sô deshité) [the] time having-passed (toki sugité) [the] vessel (funé ga) entered port (niukô itashimashita) barely (yôyaku) arriving at (ni itaté) [the] seventy sixth day (shichijiu roku nichi mé); [the] statement (môshinobé) from him (tônin kara no is) (dé gozaimasu) that (to) of course (zentai) [he] intended (tsumori dé atta) to take delivery (hikitoru) without dispute (iya-ô naku) even though [it] become [a] loss (yoshiya son ni natté mo) if (-ba) only (saë) [the plaintiff] did (sure-) handing-over (watashi) according-to (dôri ni) [the] time-fixed (kigen).

5. 一 首尾(漢語), 直訳はhead [and] tailである。「一を成しません」は(直訳が) does not make head and tailで、すなわちis unsatisfactory(不満足である)の意となる。横文字, foreign writing(外国の書き方), a foreign document(外国の文書)の意で、「横文」に同じ。数字(漢語), 直訳はnumber-charactersで、the Arabic numerals(アラビア数字)の

こと。当地（漢語），this place（この場所）の意。（全文の）直訳はBut (*shikashi*) though (*keredo*) [it] may even be (*de mo arimashô*) [that] he (*tônin wa*) has-said (*môshita*) so (*sayô*) that (*soré wa*) really (*dômo*) is (*des'*) [a] thing (*koto*) [which] a-little (*chito*) cannot be believed (*shinjiraremasen'*). As-to (*wa*) [the] reason (*waké*) of that (*sono*), seeing that (*nagara*) [a] contract (*yakujô gaki ga*), [on which] himself's (*jibun no*) seal (*in wo*) is impressed (*oshité aru*), actually (*masashiku*) exists (*ari*), by (*dé wa*) such-a (*sono yô na*) statement of your's (*o hanashi*) wholly (*ikkô*) [it] is unsatisfactory (*shiubi wo nashimasen'*). [I] think (*omoimasu*) that (*to*) that (*soré wa*) [is] perhaps (*ka*) [a] too (*amari*) outrageous (*keshikaran'*) thing (*koto*). As-to (*wa*) such a thing (*gurai no koto*) [as] the-extent-of (*daké*) one two three's (*ichi ni san no*) numerals (*sûji*) of things (*mono no*) called (*to wa môsu*) cross-writing (*yokomaji*), as-to (*wa*) [the] merchants (*akindo*) of this place (*tôchi no*). how (*nanzo*) may there be (*arimashô ya*) all-of-them (*mina*) the not knowing (*oboeté inai koto ga*). Is (it) not (*ja arimasen' ka*) [a] thing [he would be] likely to find fault with (*togamé sô na mono*), whether (*ka wo*) 'sixty days (*rokuji nichi*)' is written (*kaité aru*) or (*ka*) is not (*nai*), at once (*sugu*) on that spot (*sono ba dé*).「横文字と申す」に「は」を挿入することで（訳者注：「横文字とは申す」と）強調していることに注目せよ。それによりthough they be (the things called) foreign writing(外国の書き方（と言うもの）ではあるけれども）という意味になっているのであろう。

- 6.－「大きに」の後に「左様でございましょう」を補って解釈せよ。気を緩^{ゆる}す, to relax the attention(注意力を緩める)の意。気が付く, (直訳は) attention is fixen(訳者注: 冒頭のERRATAでfixenをfixedに訂正) on, attention is attracted byで、to notice(気付く), to recollect(思い出す)の意。一通^{ひとつとお}りの (*shito-tori no*), ordinary(普通の)の意。是非(漢語), (直訳は) right [and] wrongで、「一をただす」はto inquire into the merits(是非を調べる)の意となる。(全文の)直訳はQuite so. It probably is so in great measure (*ôki ni*). But (*shikashi nagara*) [one] cannot tell (*shiremasen' no sa*) whether also (*ka mo*) [his] attention was not attracted (*ki ga tsukanakatta*) to (*ni*) such-a thing (*sonna koto*), because-of (*yuyé*) the relaxing of attention (*ki wo yurushité oru koto*) by-all (*mina*) in this country (*kono kuni dé wa*) [thinking] only (*bakari*) that (*to*) your country's merchants (*o kuni no akindo wa*) taking-[them]-all-together (*subété*) are (*da*) honest individuals (*shôjiki na mono*). It will not do (*waké ni wa mairimasumai*) to inquire into (*tadasu*) [the] merits (*zêhi wo*) by (*de*) only (*bakari*) ordinary (*shito-tôri no*) reasoning (*rikutsu*) either (*mo*) as you say (*ôsé no yô ni*).
- 7.－左様 仰^{おっしゃ}って見るとは第20章6番の「然^えうして見れば」と同様の意味である。ずるい, knavish(不埒な), slippery(不道徳な), unreliable(信頼できない)の意。不正^{ふしょうじき}直(漢語)は「正直^{しょうじき}」honestyにラテン語接頭辞のdisに相当する「不」(漢語) notがついたもので

ある。日^ひ, dayの意だが、whenやifの意である「とき」のように用いられる。其^その意を得ない、直訳はdo-not-catchで、do not understand(理解できない)を意味し、連体修飾語句として用いられる。すなわちincomprehensible(理解できない)、inadmissible(受け入れ難い)の意となる。意外なはその同義語である。(全文の)直訳はIf you say so, then (*sayô osshatté miru to*) [it] is (*des'*) as if (*yô*) some how or other (*nani ka*) my country's (*waga kuni no*) merchants (*akindo*) only (*bakari ga*) are terribly slippery (*hidoku zurui*), but (*ga*) if [one] were to (*hi ni wa*) argue (*ronzuru*) honesty (*shôjiki*) and (*to*) dishonesty (*fu-shôjiki wo*) clearly (*akiraka ni*), Japan's merchants (*Nihon no shônin*) also (*mo*) would-not-be (*dé arimasumai*) too (*amari*) especially (*kakubetsu*) good of reputation (*hiôban ga yoroshii*) side (*hô*) either (*mo*). As-to-that (*soré wa*), [it] is (*des'*) [an] extremely inadmissible thing (*hanahada sono i wo énai koto*). Since (*kara*) [the] contract (*yakujô-gaki ga*) is (*da*) [the] proof (*shôko*), whatever (*donna ... mo*) thing (*koto wo*) [he] may say (*itté*), verbally (*kôjô dé wa*) [it] is not sufficient (*tarimasen'*) for entertaining (*toru ni wa*). But (*shikashi*) in your country (*kikoku dé wa*) do [you] regard (*o tori nasaimasu no ka*) as proof (*shôko ni*) that which is said (*itta hô wo*) verbally (*kuchi dé* rather (*kaëtté*) than (*yoru wa*) written things (*kaita mono*)).

8. 一意味あい, reason(わけ), explanation(事情)の意。有^あるまいものでもない(訳者注: Part I と Part III は「mon'」「もん」), (直訳は) is not either a thing which cannot existで、それゆえmay perhaps exist(きっとあるだろう)の意となる。「決して」の後に「左様なわけではございません」that is not the caseを補って解釈せよ。「僉議の上(uyé)」の後に「談じを遂げましょう」I will pursue the discussion(私が議論を進めましょう)を補って解釈せよ。(全文の)直訳はNo. Certainly. How could it be possible (*dô itashité*). As (*tôri*) [I] said (*môshita*) just now (*tadaima*) also (*mo*), in that part of the matter (*soko ni wa*) there are perhaps (*arumai mon' de mo nai*) explanations also (*imiai mo*) other than (*no hoka no*) [the] reasonings (*rikutsu*), and-so (*kara*) after (*no uyé*) further (*nawo*) inquiry (*sengi*) ... 其^そ処^こは「そのところ」のことで、すなわち「食い違いのところ」the part of the affair where it went wrong(間違いが起こった部分)をさす。話し手は、「理屈」reasonings(論法)という言葉によって最初に論点となった議論自体を言い表している。
9. 一処置^ぶ振り, manner of dealing with(扱い方)の意で、「処置」settlement(処理), disposal of(…の処分)と「ふり」manner(方法)から成る。「何卒^{どうぞ}」の後に「ご挨拶を願います」を補って解釈せよ。「何^どう言^いう処置^ぶ振りに成^なるか」の)直訳はAfter(訳者注: 冒頭のERRATAでAfterをWhatに訂正) sort of manner of dealing do you make [it]?である。「御決断^ごの処^と」(の直訳)はaugust decision's placeで、すなわちthat which you decide(あなたが決断するところのもの)の意となる。この表現は、動詞の前に置かれる「所^{ところ}」という字によって関係詞が表わされるという、中国語の慣用語法の断片であるように

思われる。

10. 一 苦情 (漢語), complaint(不服) の意で、直訳はpainful feeling。向こう, (直訳は) opposite で、すなわちthe opposite party(反対の集団) の意。差し入れた, 直訳はput inで、すなわちpaid down(内金として払う) の意。内金^{うちきん} (訳者注: PartIIIは「打金^{うちきん}」であるが、12番と13番の表記は「内金^{うちきん}」となっている), 「うち」insideと「金^{きん}」(漢語) moneyの複合語で、それゆえa sum within the whole amount(全額の中のいくらかの額), an advance(前金) の意となる。(全文の) 直訳はReally (*dômo*) [I] think (*zonjimasu*) that (to) [the] settlement's (*shochi no*) way of applying (*tsuké-yô ga*) is difficult (*mudzukashii*). From (*kara*) him (*tônin*) again (*mata*) having declared (*ii-tateté*) [a] complaint (*kujô wo*) [he] is (*imasu*) saying (*itté*) that (to) [he] wishes-to-get (*moraitai*) returned (*kaëshité*) in-any-case (*nan' demo*) [the] advance (*uchikin wo*) of five hundred piecy (*go hiaku mai no*) [which he] paid-down (*sashi-iréta*) to (*é*) [the] opposite (*mukô*) [party].
11. 一 直訳はAs-to that [it] is really [an] unreasonable absurd saying. As to such-a thing, of course even in your-country there-will-not-be a reason-why [you] should (*hadzu*) admit (*o kiki-iré nasaru*) [it].
12. 一 聴き済む, to grant(聞き届ける、許容する), accede to a petition(請願に応じる) の意。うっちゃる (*utchyaru*), 「打ち遣る」to let alone(一人にしておく), neglect(無視する), give up(手放す), throw away(無駄にする) の転訛。破断^{はだん}する, to annul an engagement(契約を破棄する) の意。(全文の) 直訳はOf course (*mochiron*) it is impossible (*waké ni wa mairimasen'*) to accede (*kiki-sumu*). That-being-allowed (*soko dé*) as (*kara*) any-how soever (*dô shité mo*) [the] argument (*ron ga*) does-not-dry-up (*himasen'*) how (*ikaga*) if [I] were to persuade (*danjitsukémashité wa*) him (*tônin wo*) that (to) [it] will-be-well (*yokarô*) if [he] were to annul the contract (*handan shitara*) having abandoned (*utchyatté oité*) [the] bargain-money (*uchi-kin wo*) as-it-is (*sono mama*, lity. that fashion, i.e. in the condition in which it now is, namely, in the hands of the seller).
13. 一 損にするはto lose(損をする) の意ではなく、to consider as a loss(損失と見なす) の意である。第20章39番の「とする」と同じ「にする」の用法である。償金^{つぐのいきん}, compensation(補償金), indemnity(損害賠償) の意で、「つぐないきん」に同じ。(全文の) 直訳はNo, by (*dé wa*) such-a-kind-of (*sô iu yô na*) way of dealing with (*shôchi-buri*) on (*dé wa*) this side (*kochira*) consent (*shochi ga*) cannot-be (*dékimasen'*). If [it] be (*naraba*) a-reason-why (*waké*) [he should] completely consider as a loss (*son ni shité shimau*) the advance (*uchi-kin wo*) [it] is (*des'*) a-reason-why (*dôri*) [he] must pay (*harawanakutchi naran'*) [a] compensation (*tsugunoi-kin*), to-the-full-extent (*sukkari*) deducting (*sashi-hité*)(訳者注: 冒頭のERRATAで*sashi-hité*を*sashihiité*に訂正) [the] market-price of to-day (*konnichi no sôba wo*) from (*ni*) [the] at-first (*saisho*) agreed (*yaku-jô shita*) former (*sendatté no*) price

(nédan). But (shikashi) on this side (kono hô dé wa) as-to (wa) such a (sonna) thing (koto), [we] of-course (motoyori) do-not-ask-for (negaimasen'). At-present (tôji) as (ni tsuki) there are not (nai) too many (amari) buyers (kaité ga) of camlet (gorofuku no) [we] absolutely (zéhito) must have (morawanakutchi narimassen') [them] taken-delivery-of (hiki-totté).

15. — (直訳は) Is [it] not (ja gozaimasen' ka) [a] good principle to go upon (ii waké) though [it] smash (tsuburété mo). Naturally (motoyori) smashing (tsubureru no wa) when (toki wa) debts (hikioi ga) cannot be paid (harawarenai), must be (deshô) [a] matter of course (mochiron no koto), that is to say (sunawachi) [it] is is (des') the mercantile-law (shôhō to iu mono) of all countries (bankoku no). I may say (mâ) in (ja) my opinion (watakushi domo no kangaë) [I] think (omoiyasu) that (to) [it is] probably (ka) a good principle to go upon (ii dôri) though (mo) that species of (ano tagui no) fellows (yakara wa) [who] do (suru) speculative business (yamashi akinai wo) be smashed (tsuburété). 商法 (漢語) という言葉は、しばしば日本人によって商売 (訳者注: 原文mercantile enterpriceと誤る) や取引の意味に誤って用いられる。例えば「商法を開く」to enter into trade(商売を始める) という言い回しのよう。 (訳者注: Part I の英訳文ではmercantile lawとなっている。) 山師^{やまし}は悪い意味でのspeculator(投機家) の意味である。

16. — 何^{なに}しろ、直訳はdo whatで、すなわちin any case(どのみち), after all(結局) の意。片^{かた}を附ける, to arrange a matter(物事を整理する、調停する), to 'put through' an affair(事を成し遂げる) の意。「かたのつけよう」はway of arranging(調停の仕方) の意。(全文の) 直訳は[It] would be (deshô) [a] terrible (taihen no) affair (koto) if all because bankrupt (mina tsuburétara). [I] do-not-know (shira) whether (ka) [the] trade (koéki ga) of this place (tôchi no) does not perish completely (naku natté shimai ya shimasen') at once (jiki ni) if that were to happen (sô suru toki ni wa). But (shikashi) after all (nani shiro) since (kara) judging (sabaki ga) is (des')^マ a little (chito) troublesome (mendô). how (dô) is [it] (des') if [we] were to try (mitara) causing to do (itasashité) conferring (jidan) yet once (mô ichido) from him (tônin kara) to the merchant (akindo é) of your side (anata no hô no). If (-kereba) by that (soré dé) in any manner (totemo) forbearance (kamben ga) cannot be done (dékina-) then (sono toki wa), since (kara) I-hope (dôka) there may be (arimashô) also (mo) again (mata) [a] way of arranging (kata no tsuké-yô) [I] pray you to wait a little, sukoshi go yûyo wo negaimasu]. 致^{いた}さしては「致^{いた}させて」の一般的な転訛で、「致^{いた}す」の使役態「致^{いた}させる」の分詞としては「致^{いた}させて」の方が正しい形である。

17. — 畢竟, after all(結局), in fact(実際), the fact is that …(実際のところ…である) の意。推^おし^お転^{うつ}る, 「おす」to pushと「うつる」to change place(移動する) の複合語で、すなわち自動詞のto push over(席を詰める), to pass over into(通り越して…となる), develop into(発展して…となる), to result in(…に終わる) の意。公平 (漢語) の, fair impartial(公平な),

just(公平な) の意。(全文の) 直訳はSince (*kara*) [it] is (*des'*) a state of affairs (*waké*) [which] unavoidably (*yondokoro-naku*) has resulted (*oshi-utsutta*) in this case (*kono-jiken ni*) simply because (*yuyé ni koso*) in fact (*hikkiô*) compromise (*jidan ga*) is not arranged (*totonowanai*), after this (*kono uyé wa*) [it] is (*des'*) a useless thing (*muda no koto*). Allowing that (*yoshiya*) [he] even does (*itashité mo*) [I] think (*omoimasu*) that (*to*) [the seller's] not consenting (*shôchi sen' no wa*) [is a] matter of course (*mochiron no koto*). Either way (*to ni kaku idzuré*) there is not (*arimasen'*) other (*hoka wa*) than (*yor*) simply (*tada*) praying for (*negau*) just (*kohei nô*) august judgment (*go shochi wo*). If there is not (*nakereba*) without fail (*kanarazu*) whether or no (*zéhizéhi*) august decision (*go ketsudan ga*) within (*no uchi ni*) three days (*mikka*) from to-day (*konnichi yori*) somehow or other (*idzuré*) there is (*gozaimasu*) also (*mo*) again (*mata*) [a] way of proceeding (*tori-hakarai-yô*) on this side (*kochira dé*).

18. 今一度 (または「今一往」) はonce more(もう一度) の意で、直訳はnow once。取り糺^{ただ}しは「取り調べ」と同様の言葉。(全文の) 直訳はSome how-or-other (*idzuré*) after (*no uyé ni*) once more (*ima ichido*) making inquiry (*tori-tadashi*) by that [time] (*soré madé ni wa*) without fail (*kanarazu*) [I will give you an answer] (*go aisatsu itashimashô*).

付記 本稿は平成18-20年度科学研究費補助金(若手研究(B))の研究成果の一部である。